中ノ
一、從業員三名ノ者ハ解雇スル事
一、解雇者ニ對シテハ各月給ノ一ヶ月分ヲ手當トシテ支給スルコト
一、希望退職者(同ニ對シ)金一封(三十円)ヲ支給スルコト
一、殘留從業者ニ對シテハ月給五分増額スルコト

④名古屋海運株式會社(二二一七)
所在地、名古屋市南區港本町
労働者、男 六四名
参加者、全員 名古屋港解船從業員
争議並経過、
解船夫等ハ滯船料ノ都合ヲ理由トシテ支給セシコトヲ條件トシテ二條ノ
要求ヲ提出シ當局ト交渉シタルモ廿一日當局ハ拒絶シタルヲ以テ要求貫徹ノ

宣言セルモ之ヲ拒ミタルヲ以テ十二月廿九日再度要求ノ提出ヲナシタリ
要求
要求ノ條件
一、滯船料ノ規定通リノ支給セヨ。
二、荷揚ノ先着順トセヨ。
三、成船賃ノ五割ニ一円二十銭ヲ増額セヨ。
四、運河内ノ荷揚ノ場合ハ規定通リ支給セヨ。
廿八日之ニ對シ會社側ハ[illegible]ヲ示シタルモ解決セズ一月廿日
仲介ノ解決ニ當リ警察署ノ斡旋ヲ見テ主張者ノ解雇ヲ撤回シタリ
解決
一、滯船料ハ荷揚後二日目ヨリ四日ヲ限度トシテ五日目ヨリ支給ス。
二、荷揚ハ先着順トス。
三、成船賃ハ從来通リ荷揚ニ付一万斤(石炭)ニ付十銭奥行

財團法人 協調會